

一般質問通告書

受領日時 令和6年2月15日 午後 1時50分 9番 氏名 齋藤 晋

質問項目	質問の要旨
1 生産年齢人口減少について	厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が公表した地域別推計人口で、2050年時点の15～64歳の生産年齢人口を2020年と比べた数値が出た。 (1) 我が町は、2050年 人口3,571人 生産年齢人口は1,189人との推計が出た、この記事を見てどう思うか。 (2) 上記推計を打開しないと、五城目が無くなる。打開策は。 (3) 平均寿命が80歳を超える時代、65歳以上の高齢者の生きがい・やりがいを作るためにも、また、高齢者の技術や知恵を生かす為にも、高齢者に頑張ってもらわないと町が成り立たないと思うが、町の考えは。
2 農林業の振興のために	(1) 衰退の一途をたどる農林業であるが、打開策は有るのか。普通の打開策だと問題にならない。 (2) 農地は放置され、森林も手入れをしない荒れた山になってきている。不耕作地や里山に、山菜・キノコの栽培を奨励し、宣伝し販売するシステムを、知識のある高齢者とアイデアのある若者に力を借りて、町の特産物を、産業振興・農林業の振興のために、町主導で実施し、軌道に乗ったら民間移行すべきと思うが、町の考えは。出来ない理由はいらない！ (3) 朝市振興のためにも、山菜・キノコを町の特産物とし、通年販売できるよう、加工・保存など考えるべきと思うが、町の考えは。

3 適正な議員定数について	(1) 町の人口は約8000人である。2050年時点で4千人を割る人口になる統計が出ている。議員定数も人口減に合わせて削減すべきと思うが、町が考える適正な議員定数は。人口が7千人6千人5千人4千人と推移する予想で、町の考えは。 (2) 全国の町村で、人口比で議員数が最多の市町村と最小の市町村は何処か
4 移住促進を図り人口増を目指すには	(1) 移住促進策は有るか、令和に入って移住者の数は。 (2) 空き家対策で、空き家をリノベーションするために、国・県・町から補助金は有るのか。全国の自治体でリノベーションの補助金が高い自治体は何処か、そして幾らか。 (3) 人口増を図るために、移住促進に於いて他町村との差別化を図らないと、移住者を増やすことは出来ない。上記の空き家対策の補助金を他町村より多くするとか、出産・子育て世代への補助金を他町村と比べて多くするとか、思い切った施策が必要だと思うが、町長の考えは。 (4) 国が子育て支援を真剣に実施すると言っている。国県町で出産・子育ての為に、成人するまで何に幾らの補助を出しているのか。国の子育て支援は大きく変わるのか。